

「日本茶の世界展開の可能性と、 それを支える品質管理」

✦ コーディネータ

日本GAP協会 専務理事 武田泰明

✦ パネラー

日本茶輸出組合 副理事長 谷本宏太郎

宮原マネジメントシステム 代表 宮原義博

論点 1

日本茶の消費拡大の可能性を探る

国内？

海外？

新たなライフスタイル？

新たな用途？

国内の緑茶販売の現状

- 個の時代、簡便性、茶殻の廃棄が面倒
- 急須で淹れる茶の低迷、ペットボトルが生活に定着
- 茶専門店での購入から量販店、コンビニ、ドラックストアへ
- 抹茶や粉末茶を利用した商品が多く登場(アイス、菓子等)

H24年度 緑茶市場規模と原料茶使用量の予測

	金額(億円)		荒茶数量(t)	
緑茶飲料	3,900	60%	25,000	28%
緑茶リーフ	2,600	40%	64,000	72%
合計	6,500	100%	89,000	100%

日本GAP協会推計

※ブレンド茶に使用する緑茶は考慮していない。

3

緑茶は堅調に飲まれている？

JGAP

区分 年	国内生産量 A t	輸入量 B t	輸出量 C t	国内消費量 A+B-C=D t	人口 E 千人	一人当たり消費量 D/E g
平成5年	92,100	5,481	305	97,276	124,764	780
10	82,600	6,399	652	88,347	126,486	698
15	91,900	10,242	760	101,382	127,619	794
16	100,700	16,995	872	116,823	127,687	915
17	100,000	15,187	1,096	114,091	127,757	893
18	91,800	11,254	1,576	101,478	127,770	794
19	94,100	9,591	1,625	102,066	127,780	799
20	95,500	7,326	1,701	101,125	127,692	792
21	86,000	5,865	1,958	89,907	127,510	705
22	85,000	5,906	2,232	88,674	128,056	692
※23	82,100	5,393	2,387	85,106	127,799	666
※24	85,900	5,473	2,351	89,022	127,510	698
対前年比%	105	101	98	105	100	105

昭和60年 缶入り煎茶発売
平成元年 おーいお茶誕生

平成8年 500mlペットボトル誕生
スターバックス上陸

平成16年 伊右衛門 誕生
濃い味 プーム

平成19年 綾鷹 誕生
にがり系の茶 プーム

平成20年 リーマンショック
デフレ、生活防衛、TB人気

平成23年 東日本大震災
放射能問題

緑茶飲料は年間約18L/人飲まれている。

資料: 1 農林水産省統計部による。
2 輸出入量は財務省通関統計による。
3 人口は総務省調査(推計人口) 各年10月1日現在による。
なお22年人口は国勢調査速報値である。
4 ※国内生産量は16主産県計による。

(公社)日本茶業中央会 公開情報より

急須からペットボトルへ。実は茶葉の需給量に極端な変化なし。ペットボトルの魅力的商品開発のおかげで緑茶需要は維持されているともいえるのでは。

4

多様な飲料の中で健闘する緑茶飲料



清涼飲料の品目別生産額

(単位:百万円)

	平 10	12	16	19	20	21	22	23	24 見込み	
										シェア
緑茶飲料	122,488	193,910	435,187	431,568	407,360	382,489	370,962	361,160	384,842	10.2%
茶系飲料 (緑茶除く)	632,945	619,063	553,008	561,817	539,260	530,030	564,927	534,391	535,051	14.2%
コーヒー飲料	801,942	835,362	937,545	940,962	891,943	836,544	849,719	847,442	863,642	23.0%
炭酸飲料	665,831	648,890	545,328	581,930	592,004	603,351	648,027	667,511	719,675	19.2%
果実飲料	430,440	447,366	376,430	379,663	324,239	305,683	307,967	321,350	338,910	9.0%
ミネラル ウォーター	65,991	78,001	115,421	150,852	162,015	164,549	161,936	206,456	212,585	5.7%
その他	536,893	608,746	629,859	698,264	752,949	626,968	684,104	649,271	701,775	18.7%
合計	3,256,530	3,431,338	3,592,778	3,745,056	3,669,770	3,449,614	3,587,642	3,587,581	3,756,480	100.0%

(資料：全国清涼飲料工業会、平成 23 年は日刊経済通信社「酒類食品統計月報」2013 年 1 月号)

茶の輸出の状況、海外の動向

- 輸出は増加している
 - 47億円、2000t強の輸出、過去10年間で4倍に増加
世界的な日本食ブーム、健康志向、クールジャパン、
ジャパンプレミアム
- 世界的な茶の需要は増加傾向 (FAO日本事務所の報告より)
 - 2010年現在 410万t(内、緑茶130万t) ※日本は9万t
2021年予想 588万t(内、緑茶260万t) 緑茶急成長
※アジアの成長に伴う需要

各国の茶の消費量

年次・ 区分 国名	2004-06		2005-07		2006-08		2007-09		2008-10		2009-11	
	計 (千t)	1人 当たり (kg)	計 (千t)	1人 当たり (kg)	計 (千t)	1人 当たり (kg)	計 (千t)	1人 当たり (kg)	計 (千t)	1人 当たり (kg)	計 (千t)	1人 当たり (kg)
イギリス	131	2.2	132	2.2	132	2.1	127	2.1	123	2.0	122	1.9
フランス	14	0.2	14	0.2	15	0.2	15	0.2	15	0.2	15	0.2
ドイツ	21	0.3	22	0.3	23	0.3	22	0.3	23	0.3	23	0.2
ロシア連邦	232	0.9	239	0.9	246	0.9	254	0.9	260	1.0	264	1.0
カナダ	18	0.6	18	0.5	17	0.5	16	0.5	16	0.5	16	0.5
アメリカ	103	0.4	106	0.4	111	0.4	112	0.4	118	0.4	122	0.4
中国	651	0.5	737	0.6	823	0.6	930	0.7	1,030	0.8	1,128	0.8
台湾	39	1.5	40	1.5	41	1.6	41	1.5	43	1.6	44	1.7
インド	754	0.7	771	0.7	786	0.7	799	0.7	809	0.7	820	0.7
スリランカ	27	1.4	27	1.4	28	1.4	28	1.4	28	1.4	28	1.4
インドネシア	60	0.3	61	0.3	57	0.3	58	0.3	58	0.2	61	0.3
日本	150	1.2	145	1.1	139	1.1	134	1.0	133	1.0	121	1.0

(資料: International Tea Committee 「Annual Bulletin of Statistics 2012」)

7

農水省の海外戦略①

1. 食文化・食産業のグローバル展開

- 日本の食文化の普及に取り組みつつ、日本の食産業の海外展開と日本の農林水産物・食品の輸出促進を一体的に展開することにより、グローバルな「食市場」(今後10年間で340兆円から680兆円に倍増)を獲得。
- このため、世界の料理界で日本食材の活用推進(Made FROM Japan)、日本の「食文化・食産業」の海外展開(Made BY Japan)、日本の農林水産物・食品の輸出(Made IN Japan)、の取組を一体的に推進。



日本食文化の普及

日本食の普及を行う人材育成、
メディアの効果的活用等を各省連携して実施



世界の料理界で日本食材の活用推進 (Made FROM Japan)

日本食材と世界の料理界とのコラボレーション
※世界中のシェフが日本のゆずをメニュー化
※中華料理の高級食材として輸出されるホタテ



日本の「食文化・食産業」の海外展開 (Made BY Japan)

- ① ビジネス環境の整備
- ② 人材育成
- ③ 出資による支援



日本の農林水産物・食品の輸出 (Made IN Japan)

国別・品目別輸出戦略の実行
(全国協議会の枠組みを活用した検証・見直しを実施)



8

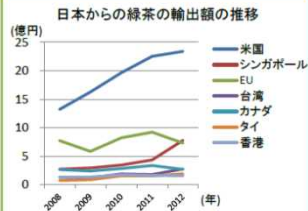
1

農水省の海外戦略②

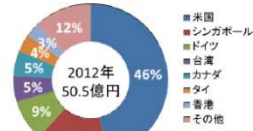
10. 茶の輸出戦略

輸出の現状

○2012年の茶輸出額は約50億円で、5年前と比べ約1.5倍に増加。その半分は米国向け。
○EU向けは震災以降減少しているが、シンガポール向けは拡大傾向。



2012年の輸出額の国別割合



分析

○世界的な健康志向の高まりから、各国の緑茶需要は増加傾向。
○他国産に比べてブランド力がある日本茶が進出しやすい状況。
○日本茶の価格は平均して現地・他国産の2～4倍。安いものは家庭用、高いものは贈答用として販売。



○米国では、「緑茶は健康」とのイメージがあり、市場が拡大傾向。
○EUでは残留農薬問題や放射性物質にかかる規制により日本茶の輸入量は伸び悩み。

2020年目標と対応方向

○ 輸出額目標: 150億円。

➢ 新興市場: EU、ロシア
➢ 安定市場: 米国、香港、台湾、シンガポール

生産サイドの対応方向

- 輸出に対応した茶栽培技術、加工技術の確立、病虫害に強い茶の開発。
- 有機栽培の推奨。
- 健康成分高含有品種の開発・普及。
- 茶樹中の放射性セシウム低減の徹底。
- 輸出相手国の食品衛生関係規制に対応した基準に合った生産体制の確立。

輸出環境整備

- 米国の有機同等性の承認の取得。
- EU向けのGLOBAL G.A.P. 認証取得支援。
- EU、香港、台湾の残留農薬基準への対応。(基準に沿った生産体制確立、相手国でのインポートライセンス設定の支援)

マーケティング

- 日本食・食文化の発信とあわせた売り込み。
- 日本茶の安全性や健康イメージ、カテキンなど機能性成分による効能をPR。
- 富裕層だけでなく中間層もターゲットとした新規需要層の開拓。
- フレーバーティー等相手国の嗜好に合った商品を開発。

9

11



<http://www.ocharaka.co.jp/media.html>



✦ 日本GAP協会の会議室
では、お客様が茶を選
ぶことができます。

✦ 年間の茶葉購入金額
48,000円

✦ 東京都の事業所数
70万事業所 →336億円

会社の会議室
お客様を茶で
OMOTENASHi活動

11



✦ 台湾 青果卸 会議室

✦ 社長が目の前で茶をふるまいながら会議

12

✦ 台湾 農薬屋 店頭

✦ 店長が目の前で茶をふるまいながら防除の相談



✦ 宇治茶 茶農家

✦ 茶は単なる飲み物ではなくコミュニケーションの道具



お茶はお湯の温度が大事！
茶葉の種類によって、、、
水は軟水が、、、
5分以上沸騰させて、、、
カルキの除去が、、
そして冷まして、、、



茶 専門家

めんどくさい、、、
もっと簡単に美味しく飲めないのかしら、、



- ✦ 湯沸しポットメーカーと一緒に 日本茶が美味しく
飲めるポットを開発
- ✦ 技術革新で、硬水でも水色良く、美味しく飲める
- ✦ 和を感じさせる専用デザイン、インテリアにも。
- ✦ 会社の会議室 お客様を茶でOMOTENASHI運動
- ✦ 茶葉販促キャンペーンで100台プレゼント、等



- ✦ 和食のユネスコ登録
後、農水省のエントラ
ンスに茶室が造られ
た
- ✦ 週替わりで全国の茶
をふるまってはどうか
- ✦ ベンチも畳表。これか
ら会議の人も、会議
が終わった人も、茶で
一息・一服
- ✦ もちろん専用ポットを
使って淹れる！

論点 2

持続可能な茶業の実現に向けて

今、何をすべきか？
GAPは貢献できるか？
2020年ビジョン

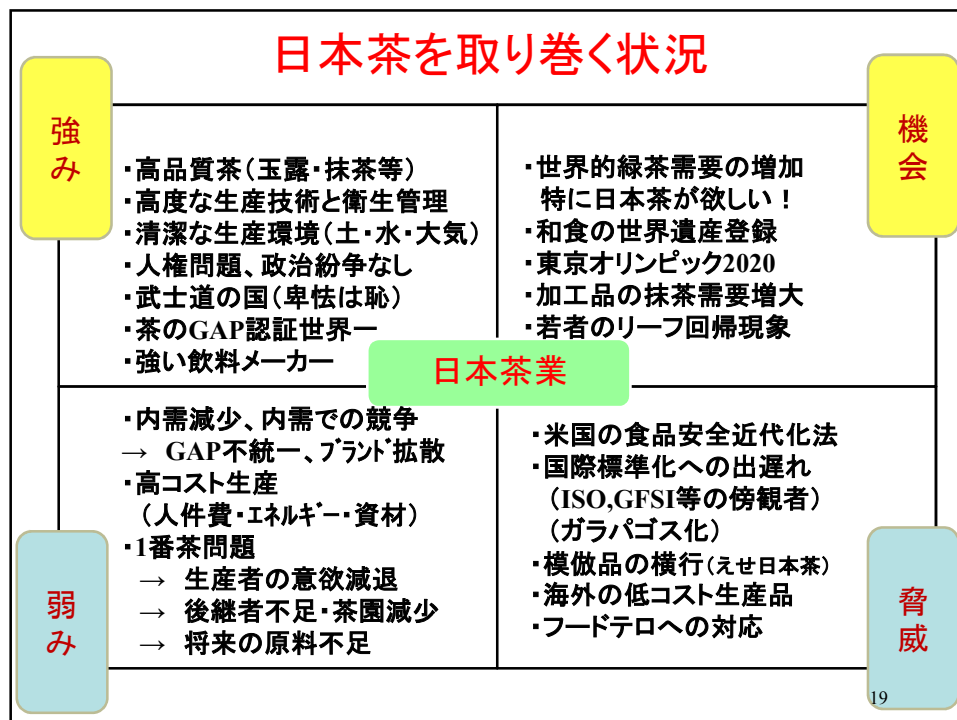
17

JGAPの理念より

•人間と地球と利潤の間に矛盾の無い農業生産の確立と、生産・流通・消費の信頼関係構築を目指す。

•農産物の安全を確保して消費者を守り、地球環境を保全し、同時に**持続的な農業経営を確立**することがJGAPの目指す最終的な目標である。

18



静岡の茶産地の現状

- 1番茶が高く売れない、収入減少
- 静岡県の茶産出額
 - 平成2年:746億 → 平成22年:436億
- 静岡県では毎年200haの茶園が減少
- 複合経営の推奨(清水市はにんにく栽培、牧之原市ではレタス栽培等)

20

宇治茶産地はどうか？

- この10年間で・・・(京都府統計より)
 - 生産面積(108%)
 - 荒茶生産量(113%) 荒茶金額(105%)
 - ※煎茶、かぶせは減少
 - 玉露(133%) 碾茶(167%)が大幅増加

21

生産と販売のミスマッチ

JGAP

- ✦ 1番茶が売れない → 農家の収入の80%が1番茶
- ✦ 緑茶飲料は2番茶から調達、量販店も主流は500円/100g以下
- ✦ 茶価低迷 → 農家収入の減少 → 後継者なし → **持続可能でない**

荒茶価格の推移

単位：円/kg、%

	一番茶	二番茶	三番茶	四番茶	冬春秋番茶
平成5	2,970	1,026	780	612	392
10	2,442	1,172	700	660	284
13	2,644	1,103	648	640	327
14	2,787	996	399	421	286
15	2,868	1,085	678	795	325
16	2,926	1,275	996	1,132	417
17	2,670	1,118	804	732	316
18	2,626	960	509		316
19	2,641	974	579		347
20	2,396	883	565		388
21	2,250	715	370		290
22	2,645	780	374		280
23A	2,438	844	570		291
24B	2,223	838	604		329
前年比 B/A %	91	99	106		113

資料：1 全国茶生産団体連合会調査による。

22

茶の輸出の障壁

- 残留農薬のポジティブリスト制度（国により茶に登録ない、又は基準値が異なる）
- 米国食品安全近代化法が施行
 - ・最大の輸出先である米国も正式にポジティブリスト制度を導入か？
 - ・FDA認定のHACCP認証、施設登録

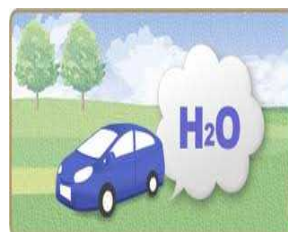
23

日本における茶のGAPの取り組み状況 H26.01月

名称	JGAP【茶】	GLOBALGAP【TEA】	T-GAP 静岡県の良い茶葉経営のための 指導制度	K-GAP かごしまの農林水産物認証 制度
制度主体	NPO法人日本GAP協会 日本・東京	FoodPLUS GmbH ドイツ・ケルン	T-GAP推進協議会 (静岡県茶業会議所、他)	鹿児島県 (農政部 食の安全推進課)
点検方法	第三者認証	第三者認証	指導・評価・承認	第三者認証
点検者	民間審査機関 (3社) MIC/AAID/JCS	民間審査機関 (日本での実績は1社:SGS)	経済連・JAが指導・評価 静岡県茶業会議所が承認	社団法人 鹿児島県 農業・農村振興協会
認証・承認 組織数	22組織 (個別9、団体13) ※農場数=534名	2組織 (個別1、団体1)	1級承認:6工場 2級承認:1工場 3級承認:236工場 *参考:静岡の全工場数は約2300	9地域協議会(部会) (工場数未発表、面積は計 3,056ha) *参考:鹿児島の全工場数は 約600
特徴	・生産者と買手側が共同で開 発した日本における標準的な 茶のGAP ・放射能にも対応 ・農水省ガイドライン対応 ・英語版あり	・青果物についての認証数は 10万農場以上 ・モジュール化:AF(全農場)ー CB(農作物)ーTEA(茶) ・TEAは紅茶主体の管理点とし ている	・指導にあたるJA茶技術員はJGAP 審査員補と同等レベルの資格必要 (現在97名登録) ・3級2級1級と段階的に取組み可 能、その先にJGAPへの取組みを 明確にしている。 ・ <u>JGAPとの同源性認証取得済み</u>	・行政(市)が協議会を作り部 会ごとで認証 ・全生産者取組みの「かごしま 茶基礎GAP」を経てステップ アップ方式で推進。 ・その先にJGAPへの取組み を明確にしている。

24

標準を握ることの重要性



25

輸出拡大の鍵はGAPと残留農薬 まずはGAPを握ろう作戦！

国内でのGAP統一（同等性認証でもよい）→ JGAPへ



JGAP認証農場の実績作り（まずは取組宣言でも構わない）



世界に通用するスキームの構築（JABへ審査機関の認定移管予定）



世界に向けてJGAPをアピール、英語版も作成完了、ISOやGFSIへ参加



茶のGAPの世界標準を握る、海外へJGAPで指導に行く



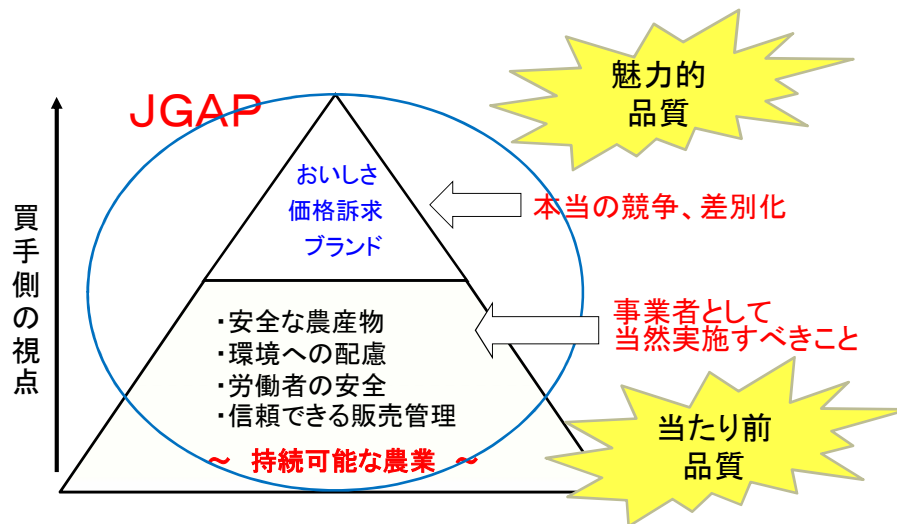
残留農薬基準の課題解決へも大きな影響力を持てる



場合によっては、日本人がJGAP使って海外生産（Made By Japan）

26

JGAPは経営品質までカバーすべきでは？



27

2020年 東京オリンピック 開催！

- ★景気の良い日本。日本食、日本茶が引っ張りだこに！
- ★ JGAPを基盤とした安全で美味しい日本茶・日本食で
全てのアスリート、お客様をおもてなし！
- ★ 品格ある国民性、バランス感覚の優れた持続可能な社会をリードできる日本を世界に発信！

